

令和6年度第1回 生駒市環境審議会

【議事要旨】

日時:令和6年8月23日(金) 10:00~12:00

場所:生駒市コミュニティセンター4階 401 会議室

1. 配布資料

- 資料1-1 第3次環境基本計画の中間見直し
- 資料1-2 第3次環境基本計画 各事業の成果・課題と今後の方向性
- 資料2 市民・事業者アンケート調査について
- 資料2-1 市民アンケート調査票
- 資料2-2 事業者アンケート調査票
- 第3次生駒市環境基本計画

2. 協議会出席者

区分	所属	氏名
会長	奈良県立大学 教授	水谷 知生
副会長	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員	河瀬 玲奈
委員	生駒市議会	中尾 節子
委員	生駒市自治会連合会 副会長	阪本 隆利
委員	生駒商工会議所 副会頭	唐金 吉弘
委員	学研生駒工業会 会長	津山 信治
委員	生駒市農業委員会 副会長	稲葉 健三
委員	エコネットいこま 代表	矢田 千鶴子
委員	一般社団法人 市民エネルギー生駒 代表理事	楠 正志
委員	生駒市社会福祉協議会 事務局長	辻中 伸弘
事務局	生駒市市地域活力創生部長 生駒市 SDGs 推進課長 生駒市環境保全課 課長補佐 生駒市 SDGs 推進課 主幹 生駒市 SDGs 推進課低炭素まちづくり推進係長 生駒市 SDGs 推進課低炭素まちづくり推進係 生駒市 SDGs 推進課低炭素まちづくり推進係	川島 健司 木口 昌幸 木戸 勇 吉村 寛志 島田 奈穂 堀 美穂 藪内 里菜

3. 議事録

1. 開会	
2. あいさつ	
3. 案件	
(1)「会長・副会長の互選」について	
事務局	会議の成立について報告。全委員 14 名のうち 10 名の出席により会議は成立。傍聴者はなし。案件(1)「会長・副会長の互選」について審議を宣告。委員に意見を求める発言。
各委員	会長を水谷委員。副会長を河瀬委員とすることを決定。
事務局	就任にあたり会長から挨拶をいただきたいとの発言。
水谷会長	以前から携わっている審議会であるが、今年度は第3次環境基本計画の改定を行う年度であるため、各委員から忌憚のないご意見を伺いたいと考えている。
事務局	以降の議事進行を会長に依頼。
(2)「第 3 次生駒市環境基本計画の改定について」について	
事務局	資料 1-1、1-2 について説明。
水谷会長	望ましい環境像、4つの目標は現行のものから大きく変更は行わず、主にリーディングプロジェクトや具体的な事業について見直す方針である。社会情勢も踏まえ検討する必要がある。
水谷会長	委員に質疑を求める発言。
河瀬副会長	過去5年間の実績について、代表指標・モニター指標などあるが、最終的には計画に記載のある「4つの目標」が市民目線でどのように感じ取られているのが重要であると考え。感覚的な指標を見ると下がっている指標が多い印象を受ける。例えば、資料1-1の20ページで、モニター指標『「適切な土地利用により、良好な都市環境と豊かな自然が調和したまちづくりが進んでいる」と感じる市民の割合』は、2020年時点から5.9%減少している。どのような背景でこのような結果になっているのか気になる。 また、32ページにあるモニター指標『「環境意識と行動の輪が広がるまちづくりが進んでいる」と感じる市民の割合』が 27.8%という結果について、行政としてどのように評価しているのかを知りたい。
水谷会長	私も副会長と同じ考えである。モニター指標のアンケート調査は 2 年に 1 回実施しているのか。
事務局	2 年に 1 回、市民実感度調査としてアンケートを実施している。
水谷会長	2018年度にも実施しているということか。
事務局	2018 年度にも実施しているが、毎回同じ設問ではなく、少しずつ変更されており比較ができないため、本資料には掲載していない。
水谷会長	モニター指標がどの程度市民の考えを反映しているのかが気になっている。資料2のア

	ンケートと、モニター指標のアンケートは異なるものなのか。
事務局	市民実感度調査は、生駒市総合計画の達成状況を測るためのもので生駒市全体についての設問となっている。今回の資料2のアンケートについては、環境分野に特化したものとなっている。
矢田委員	1つ目に、コロナウイルスが、どの事業に対してどのような影響を及ぼしたのかが気になる。2つ目に、市民にどのようなことを具体的に行ってほしいのか伝わりづらい。また、市民が親しみやすい計画にするため、できるだけ横文字を減らして、わかりやすいものにすることを意識してほしい。
水谷会長	河瀬副会長からご質問のあった、32ページにあるモニター指標『「環境意識と行動の輪が広がるまちづくりが進んでいる」と感じる市民の割合』が 27.8%という結果について、行政側はどのように考えているか。
事務局	過半数にも達していないので、感覚的には低いと感じている。改めて今回アンケートを行うので、背景や要因がどのようなものなのか確認できる項目を盛り込むことも検討したい。
水谷会長	矢田委員からご指摘のあった、コロナが各事業に及ぼした影響についても検討していただきたい。
矢田委員	コロナ禍によって在宅時間やテレワークが増加したことで、家庭ごみの排出量や CO2 排出量などに影響を及ぼしたと考えられる。
楠委員	資料1-1の 27 ページの温室効果ガス排出量のグラフについて、2022年度の記載がない。また和暦と西暦が混在しているため、どちらかに統一が必要と考える。 また、生駒市からの発信をもっと活発に行ってほしい。生駒市には自治体新電力「いこま市民パワー」があり、環境モデル都市、SDGs 未来都市として素晴らしい事業をたくさん行っている。また、令和5年4月には、脱炭素先行地域にも選ばれ、今後より一層先進的な事業を進めていくまちである。生駒市の素晴らしさをもっとアピールするべきである。
水谷会長	資料1-1 は、今後どこかに掲載されるのか。
事務局	資料 1-1 は、本審議会の資料として作成したものである。過去5年間の成果のまとめは、計画の冒頭に要約して掲載する予定である。
辻中委員	現行の計画の策定時は、10年後の目標値も設定したのか。設定したのであれば、今回の改定ではその目標も見直すのか。
事務局	中間見直しなので目標値はそのままとする予定だが、必要に応じて数値の修正を検討する。
水谷会長	事務局に、アンケートについて説明を求める発言。
事務局	資料2、2-1、2-2 について説明。
水谷会長	委員に質疑を求める発言。
津山委員	アンケートについて、市民・事業者向けがあるが、前回も事業者向けアンケートを行った

	のか。
事務局	事業者向けアンケートについては、今回初めて行う。
津山委員	事業者アンケートを実施する理由や回答することで得られるメリットを明示したほうが、回答率が上がると思う。
唐金委員	生駒市内には 1000 以上の事業所があるが、送付数100だと少ないと思う。
矢田委員	回答率を上げるため、送付数を増やした方が良いと思う。
事務局	生駒商工会議所のネットワークを活用させていただく予定である。
辻中委員	アンケート表紙に、「個人情報特定されないように処理する」という旨のことが書かれているが、アンケートに回答することで何か個人情報を読み取ることができるのか。
河瀬副会長	もちろん基本的にはないが、念のため、個人情報の取り扱いについては記載しておいたほうがよい。
中尾委員	市民向けアンケートは、平成29年度に行ったアンケートと、同じ設問なのか。また、選択肢の幅を広げるため、質問12-2に「その他」を追加してほしい。
事務局	経年比較をみるため、質問2、3、5、6、7については同じ内容である。そのほかについては、今回新たに作成した設問である。
矢田委員	回答方法について、該当する番号1つに○ではなく、複数に○ができるよう修正したほうがよい設問や、選択肢に「その他」を追加したほうがよい設問がいくつかある。 また、質問12-2について、「生き物の観察会」ではなく「自然観察会」としてほしい。
津山委員	その設問でなにを知りたいのか、という視点で選択肢を作ると、ほしい回答が得られるのではないか。
河瀬副会長	例えば質問5と質問 10-1 のように、内容が重複する設問がいくつかあるため、あらためて項目を精査いただきたい。また、例えば質問9-2は、横文字が難解であるため、わかりやすく平易な言葉に書き換えるべきである。
矢田委員	満足度と重要度の二種類について問われていることがわかりづらいため、いずれかのみでの回答にならないようにもっと強調してほしい。
水谷会長	質問9-2については、どういう分野でデジタルを活用したらよいか程度の内容に変更したほうが回答しやすいと思う。選択肢に「その他」が必要なものについては、あらためて検討いただきたい。質問10-2、10-3、10-5、11-2、12-2は複数回答方式に変更してもよいと思う。
唐金委員	意見がたくさんあるため、後日メールでまとめて送ってもよいか。
事務局	本審議会の終了後に、期日を付してメールによるご意見をお伺いする形にさせていただく。
水谷会長	環境基本計画全体について、ほかに質疑や意見はないか。
河瀬副会長	中間見直し後の5年間の新たな視点について、資料1-1の 15 ページにある「ネイチャーポジティブ」や「プラごみ」については盛り込んでいただきたいと思う。 また、例えば公共交通の事業において、高齢者の移動の問題と CO2 削減など、抱き合

	わせで同時に解決できる事業もあると考えられるため、検討していただきたい。
(3)「その他」について	
水谷会長	その他について、事務局から説明を求める発言。
事務局	特にない。先ほど申し上げたように、本日の審議内容について、メールで意見を頂戴するので、ご対応いただきたい。
4. 閉 会	

以 上